

2.2

2009年度の安全管理体制に係る主な活動

2009年	4月	第6回全社安全管理推進委員会の開催
	4月	本部長巡視（春の全国交通安全運動）の実施
	5月	安全考学室の開設
	6月	特別安全講習会の実施
	7月	本部長巡視（全国安全週間）の実施
	7月	2009年 安全報告書 公表
	8月	内部監査中間ヒアリングの実施
	9月	本部合同訓練の実施
	9月	安全講習会の開催
	9月	本部長巡視（秋の全国交通安全運動）の実施
	10月	安全意識調査の実施
	10月	（株）阪急レールウェイサービスの駅運営部門の阪急電鉄への統合
	10月	第1回グループ安全情報連絡会議の開催
	10月	第7回全社安全管理推進委員会の開催
	12月	事故風化防止フォーラムの実施
	12月	安全講演会の開催
	12月	本部長巡視（年末年始安全総点検）の実施
2010年	1月	内部監査（各部門）の実施
	1月	第2回グループ安全情報連絡会議の開催
	2月	社長巡視の実施
	3月	内部監査（社長・安全統括管理者・事務局）の実施

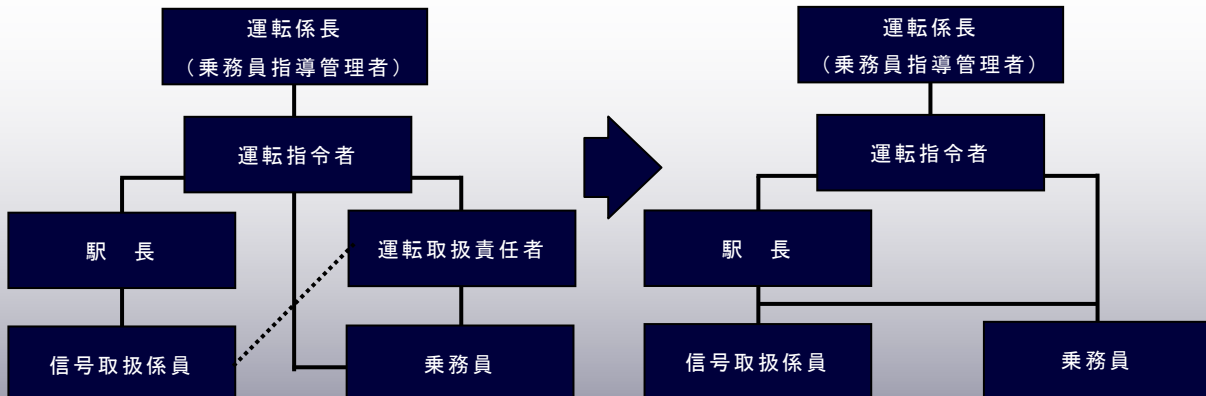
2.3

安全管理体制の見直し

2.3.1

組織変更に伴う見直し（駅運営部門の統合）

2009年10月1日、分社化していた（株）阪急レールウェイサービスの駅運営部門を阪急電鉄に統合し、運転関係と駅関係の一体運営を開始しました。それに伴い情報伝達及び連絡通報体制を見直しました。



内部管理体制の強化

厳正な運輸安全マネジメントの推進に向け、取り組み状況を検証する内部監査を実施しています。この内部監査の体制は、毎年見直し、強化しています。特に2008年度以降、社長や安全統括管理者に対しては、書類や記録等の客観的な物証に加え、元あるいは前任の安全統括管理者のインタビューによる方法を取り入れました。また、2009年度からは、マネジメントを進める安全管理推進委員会事務局も社長や安全統括管理者と同等の厳正な内部監査を受けるよう変更しました。このインタビューによる監査は、国土交通省が実施する運輸安全マネジメント評価の手法を取り入れています。その他、内部監査の事前監査として実施している、各部門の管理者及び責任者による当該部門の監査（鉄道安全監査）の結果についても監査を行っています。

※点線以下は鉄道安全監査

